

町長と語ろう
オープンミーティングを実施

10月に実施された4会場のオープンミーティングの様子をお伝えします。

10月8日(土) 午前10時～11時30分
南部コミセン 参加者 約70人

参加者 不登校対策について。
町長 稲美町がリースクールを研究し、公設民営を考えている。加古川市も協力的で、このようなことは一つのまちだけではない。ではなく広域するのが効果的だと思う。
参加者 中央公民館を新しく建て直してほしい。
町長 中央公民館、役場、総合体育館が建設から約50年経過し、建物の寿命を迎えている。約10年後の建て替えを目指して、費用は来年度から積み立てを検討する。

参加者 狭隘道路や空き家について。
町長 土山駅北地区には、まちづくり協議会が既にあるが、本荘地区・古宮地区にも同じような協議会を立ち上げ、再開発のプランを作るように内部で検討している。
参加者 花火大会や夏まつりなどの催しはないのですか。
町長 いきなり大きいイベントは難しいので、安全対策などを研究しながら小さいものから実施するとか、いろいろな団体が公園でイベントなどをしているので、そういうのも活用するのも一つの方法かと思う。

の活用するののも一つの方法かと思う。
参加者 町の仕事は優先的に町内業者へ発注できないか。
町長 町内業者が有利になるように、地域貢献の項目も含めた入札方法を取り入れたり、町外の事業者が参加する場合は、下請け事業者に何割か町内事業者を含むことを条件とするなどを検討している。



10月15日(土) 午前10時～11時30分
東部コミセン 参加者 約20人

参加者 高齢者の病院、買い物物の交通手段を考えてほしい。
町長 来年度は、公共交通に関する住民アンケート調査と検討会議をしていく。コミュニティバス、タクシードemandなど、本町にとって何が適切かを調査研究する。
参加者 タクシーチケットについて、余った人の分を活用できないか。
町長 現在、75歳以上の人に配布しているが、使用率は46%程度である。今後は40歳以上で要介護認定を受けている人を対象にする

10月19日(水) 午後6時30分～8時
西部コミセン 参加者 約50人
参加者 今まで事故が無かったからしないのではなく危険箇所を見つけたら対処することを、町と自治会が一緒に取り組んでいけたらいいと思う。
町長 整備などは自治会長から話があつて実施したり、通学路の点検で毎年発見されるので、今後も皆さんと一緒に取り組んでいきたい。

参加者 喜瀬川の草木について。
町長 ナガエツルノゲイトウという外来種が喜瀬川に入ってきた。その植物が一部でも残っているところからも根を張るので、取り除くには土ごと撤去しなければならない。これは県の事業だが、国や県と連携しながら対応していく。

参加者 新島の拡張は、本当にできるのか。
町長 新島拡張は県と国の協力がないとできない。誰かが声を上げないと何も変わらないので、地元企業や住民と協力して国や県に訴えていかなければならない。
参加者 自立支援協議会で、障害のある人を図書館に連れていくのは大変という話から、移動図書館の話になった。

町長 担当課と協議して進めていきたい。
参加者 住民にとって分かりやすい役場の組織を作ってほしい。
町長 機構改革では自治会長の用事がワンストップ

アップできるように協働推進課を新設した。これで完璧だとは思っていないので不都合があれば柔軟に対応して推進していく。
参加者 休日体調が悪くなったが、救急車を呼ぶほどではなく、どこに行けばよいか分からなくて困った。
町長 夜間に対応している東はりま夜間休日応急診療センターが加古川市にあるが、そのようなときは遠慮せず救急車を呼んでほしい。
参加者 公園を花木で彩り、町中歩き回りたいと思える町にしたい。
町長 自治会で公園管理をしてもらっているので、とても助かっている。

10月26日(水) 午後6時30分～8時
野添コミセン 参加者 約40人



参加者 長時間の停電時にはコミセンなどの公施設を避難所として開設してもらいたい。町が停電を把握していないことも、停電を災害として捉えていないことも問題だと思

など変更を考えている。
参加者 播磨南小学校の通学路は、レイクタウン横を通れるようになりませんか。
町長 ブロック塀の高さが1.8m以上あるため、回り道をしてもらっていたが、既に土地所有者と協議を始めており、前向きな答えをもらっている。もう少し待ってほしい。

参加者 幼稚園給食を実施することだが、給食については小学1年生でもいろいろ大変で、先生も食べる時間がない状態である。
町長 話し合いを重ねながら一つ一つ解決していき、体制を整えて実施していきたいと思う。

参加者 このような集まりに若い人がいないのは、小さい子どもがいるので参加を諦めている人もいる。託児ができるようにして、若い人の意見が聞ける場を設けてもらいたい。
町長 若い人たちからの意見を聞く場については、おっしゃる通りで、また別にそのような機会を作らせてもらいたいと思う。



町長 今は電力会社からの停電の情報が役場内で共有できていない状態なので、今後は情報を共有できる体制を考えていきたい。
参加者 ボランティアでしている認知症カフェを知っている人が少ない。
町長 あまり知られていないかもしれないが、他のいろいろな地域でもしていて、その活動に救われている人もいますので、行政も支援していく必要がある。

参加者 土山駅から南へ通る道の横断歩道に信号を設置するのが難しいのなら、せめて横断歩道は歩行者優先ということが守られるように、警察に立つてもらいたい。
町長 瓜生に信号があるので近くに信号を設置することは難しい。しかし、他にも危険な箇所があるので、その場所も含めて公安委員会に伝えていきたいと思う。



町ホームページにも、当日の様子を掲載しています。
企画課秘書広報係
079-435-0356

播磨町町制施行60周年記念・大中遺跡発見60周年記念

郷土資料館特別展 「大中遺跡の祈りとくらしー60年目の新発見ー」
記念講演・シンポジウムを催しました

10月16日に県立考古博物館で開催した記念講演・シンポジウムには、70人が参加しました。はじめに、森岡秀人さん（奈良県立橿原考古学研究所共同研究員）による記念講演「実像に迫る！邪馬台国時代の大中遺跡」に続き、シンポジウム「大中遺跡の過去・現在・未来」では浅原重利さん（播磨町文化財保護審議会会長）、和田晴吾さん（兵庫県立考古博物館館長）、水野洋子さん（播磨町立播磨小学校校長）、森岡秀人さんがパネラーとなり、大中遺跡の将来像をはじめ、播磨町全体の文化財の調査・保存・活用について活発にディスカッションされました。



▲シンポジウムの様子



▲記念講演 講師 森岡秀人さん

☎ 079-435-5000
郷土資料館

播磨町ふるさとPR大使の岡部祐希さんが受賞と活動を町長に報告

播磨町ふるさとPR大使 岡部祐希さんが兵庫県の「若人の賞」を受賞しました



「若人の賞」は、昭和60年の国際青年年を記念して創設され、豊かな想像力と情熱を傾けながら、青少年活動や国際交流活動、文化活動、ボランティア活動などに積極的に取り組んでいる青少年を表彰しています。岡部さんは、幼少期から日本民謡に情熱をもって取り組み、数々の賞を受賞しています。平成31年1月からは播磨町ふるさとPR大使として、民謡を通じて全国にむけて播磨町の魅力を伝える活動を続けています。

11月2日、町長室を訪れた岡部さんは、「播磨町を拠点に活動し、地元で舞台がある、地元で根付いた民謡歌手でありたい」と意欲を語りました。

☎ 079-435-0356
企画課秘書広報係

播磨町町制施行60周年記念事業 美術展と菊花展 入賞者

第70回播磨町美術展入賞者(敬称略)
11月2日〜6日、中央公民館で実施。各部門合計122点が出展され、約1,100人が来場しました。

- 町長賞 岩本 すず子(姫路市)
- 議会議員賞 内海 一紀(太子町)
- 教育長賞 湯本 秀昭(加古川市)
- 町制施行60周年記念賞 吉岡 夏子(姫路市)
- 美術協会賞 船越 司人(明石市)
- 奨励賞 和田 華苑(播磨町)
- 【洋画】
- 町長賞 大西 隆弘(播磨町)
- 議会議員賞 陰永 裕治(稲美町)
- 教育長賞 岡本 武義(神戸市)
- 町制施行60周年記念賞 岡田 慧人(播磨町)
- 美術協会賞 西田 管男(加古川市)
- 奨励賞 篠久美子(加古川市)
- 奨励賞 橋本 准子(姫路市)
- 奨励賞 平石 晴彦(加古川市)
- 【写真】
- 町長賞 小川 信雄(明石市)
- 議会議員賞 西森 栄蔵(播磨町)
- 教育長賞 谷口 亮介(神戸市)
- 町制施行60周年記念賞 都倉 重忠(加古川市)
- 美術協会賞 門脇 多美代(三木市)
- 奨励賞 横山 俊彦(加古川市)
- 奨励賞 前田 治(三木市)
- 奨励賞 宮当 正代(加古川市)
- 【書道】
- 町長賞 早川 美保(明石市)
- 議会議員賞 栗原 征男(播磨町)
- 教育長賞 仁木 郁子(加古川市)
- 町制施行60周年記念賞 小山 文雄(高砂市)
- 美術協会賞 吉岡 鈴加(稲美町)
- 奨励賞 大西 麗華(播磨町)
- 奨励賞 松本 茂(播磨町)

寄付金を子育て支援に活用します

明治安田生命保険相互会社から寄付を受け、贈呈式が行われました



9月26日、明治安田生命保険相互会社(坪井良英姫路支社長)からの、寄付金(40万5千円) 贈呈式が行われました。この寄付金は、明治安田生命保険相互会社の全従業員が居住地や出身地などゆかりのある地域に対して任意で募金する「従業員募金」に加え、会社拠出の寄付金が上乗せされたもので、寄付金の目録贈呈を受け、佐伯町長より坪井支社長へ感謝状を贈呈しました。この寄付金は、子育て支援に活用してほしいとの趣旨のもと、役場第1庁舎内のキッズスペース(クッションフロア) 購入に充てられる予定です。

☎ 079-435-0366
子ども課そだち支援係

第58回播磨町菊花展入賞者

- 10月23日〜11月9日で開催されました。(敬称略)
- 播磨町長賞 浅原 良平
 - 播磨町議会議長賞 西口 龍彌
 - 播磨町教育長賞 春名 寿美代
 - 兵庫県菊花連合会長賞 永井 誠
 - 東はりま特別支援学校 土井 勝代子
 - 神戸新聞社賞 春名 政吉
 - 播磨町菊会会長賞 西口 龍彌
 - 兵庫南農業協同組合賞 永井 誠
 - 東はりま特別支援学校 土井 勝代子
 - 播磨町商工会長賞 土井 勝代子
 - (公財)兵庫県園芸・公園協会理事長賞 春名 寿美代
 - 香西 美知子
 - 兵庫県立フラワーセンター園長賞 松岡 香
 - 浅原 良平



- 奨励賞 土井 勝代子
- 大きく咲いたこと ぶき大学園芸クラブ
- 特別出品 加藤 吉和
- 参考出品 西口 龍彌

- 【彫塑・工芸】
- 町長賞 古川 直人(稲美町)
- 議会議員賞 井上 雄二(播磨町)
- 教育長賞 西村 真由美(福崎町)
- 町制施行60周年記念賞 山本 隆之(稲美町)
- 美術協会賞 西田 管男(加古川市)
- 奨励賞 遠藤 岩雄(播磨町)
- 奨励賞 吉川 俊行(播磨町)

活力ある個性豊かな地域社会を目指して

第一生命保険株式会社と連携協定を締結しました



10月27日、播磨町と第一生命保険株式会社が相互に連携し、包括的な連携協定を締結し、明石支社長・高橋義也氏と協定書を取り交わしました。この協定により、健康増進、ワーク・ライフ・バランスの推進、子育て支援・保育対策、青少年育成・教育、高齢者支援など包括的に多種多様な分野で相互に協力することにより、地域の諸課題に迅速かつ適切に対応し、活力ある個性豊かな地域社会の形成と発展及び住民サービスのより一層の向上をめざします。

☎ 079-435-2364
協働推進課住民協働係